

こやまだより

野火止

のびどめ

2024

No83

編集 発行

(福)東京都社会福祉事業団

東京都小山児童学園

〒203-0041 東久留米市野火止 2-22-26

電話 042(471)0041

FAX 042(475)9046

<https://koyama-gakuen.jp/>

令和6年10月31日発行

令和6年度/登録第2号



日頃より、学園運営にご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

7月の盆踊り大会から始まった今年の夏行事も、9月の花火大会で楽しい思い出とともに終わりを迎えようとしています。唸るような猛暑、ゲリラ豪雨、落雷に、今年は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）と、もしかしたら中止となる園行事もあるかもしれないと不安になりながらも…、子どもたちの願いや思いが叶ったのか、予定していた川清掃・川遊びやキャンプ、寮（個別）外出などを全ての夏行事を無事に行うことができました。そして、一つ一つの行事が子どもたちそれぞれの成長や新たな発見などに繋がる貴重な経験（ひととき）であり、心に残る思い出になったことと思います。

そして、2学期が始まりました。

今年度は、中学3年生、高校3年生が14名います。既に進路が決まっている子どももいますが、多くの子どもがこれから自分の進路選択・決定をしていきます。学園の運営方針には、「自立と自律」というふたつの「じりつ」を育むことを目指すと謳われています。「じりつ」へ向けた第一歩（大事なこと）は、子ども自身が自分の不安や悩み、困っていること等を誰かに相談できることです。そして私たち職員は、子どもたち一人ひとりの不安や悩み等を真摯に受止め、寄り添い、安心に代えていくことができる、そんな存在になりたいと思います。

中3生、高3生だけでなく、学園の子どもたち一人ひとりが健やかに成長できるよう、支援に邁進していきたいと思います。

今後とも、ご指導のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

園長 山中 茂幸

川清掃・川遊び



例年に増して暑さの厳しい日が続く
中、今年も7月31日に熱中症対策
を万全に準備し、黒目川の清掃と落
合川での川遊びを行いました。冷た
い川の水に触れると子ども達は大喜
び。午前中は川清掃を一生懸命頑張り、
午後は川の生き物を探したり、水遊
びを満喫しました。職員も子ども達
に混じって一緒に楽しむことができ
ました。今年もご協力頂いた「東久
留米ほとけどじょうを守る会」の皆
様、大変ありがとうございました。



江戸っ子杯

7月29日に江戸っ子杯争奪ドッチボール
大会が行われ、小山からも10名の児童が
参加しました。

6月に団結式を行い、参加する児童・職員
の顔合わせ、スローガンを決めました。5、
6年生を中心にリーダー、副リーダーを選
出し、7月から練習開始。練習には、過去
の大会に参加した中学生も協力してくれま
した。

そして、大会当日。第一試合は八街学園さ
んとの対戦。第二セットはあと一名当てて
いれば勝てた、という大接戦でしたが惜敗。
第二試合は武蔵野児童学園さんとの対戦。序
盤はリードを取れていましたが流れが傾き
敗北。昨年より参加人数が少なくハンデを
背負っての大会でしたが、精一杯取り組む
ことができました。



盆踊り

今年度は天気が悪く小雨が降りましたが、無事に盆踊り大会を開催することができました。地域のお客さんや卒園生も沢山来園されました。メニューも一部変更となり、焼きとうもろこしから新たに唐揚げが登場しました。どこのお店も大人気でした。太鼓体験の時間では年少のお客さんが興味深々で叩いていました。関係各所の方々、ご尽力ありがとうございました。また来年もできるといいですね。



飯田キャンプ



8月3日から8月5日の3日間、アップルサンタさんの御協力のもと、飯田キャンプへ行ってきました。1日目は天竜峡大橋を渡り空のお散歩を楽しみました。そして根羽村ネバーランドでトウモロコシを収穫し、夕食はBBQでした。火おこしや野菜を切るのもみんなで行いました。2日目はハッピーマウンテンに行き、動物たちや自然と触れ合いました。命とも向き合い子ども達の真剣な姿も見ることが出来ました。昼食後はプールで遊びそのまま温泉に入りました。3日目は梅園に行き桃狩りをしました。夜は花火を楽しんだり、イベントが盛りだくさんな2泊3日でした。参加した子ども達はみんな、楽しむことができ、とてもいい思い出になりました。

出張調理

夏休み中に、実際に調理員さんと一緒に食事作りを行う出張調理がありました。

包丁で食材を切ったり、調味料を混ぜたりするなど、料理の過程に直接携われるのが魅力的です。同時に、何気ない食事が、より身近に感じる機会だと捉えています。このような「経験」・「思い出」を増やしていきたいです。



プール準備

今年も、職員手作りのプールが完成しました。暑い日も多かったですが、子どもたちはプールに入って、身体も心もリフレッシュしていました。

夏休みは、職員も児童と関わる機会が多いと同時に、たくさんの笑顔を見ることができました。これからも、児童の頑張り・良さを見つけ、居心地の良い場所を提供していきたいと思います。



編集後記

第 83 号『野火止』は如何だったでしょうか。今回はイベント盛り沢山となりましたが、児童も職員も夏の暑さに負けず、乗り越えることができました。

今後とも、小山児童学園を温かく見守っていただけると幸いです。

広報誌『野火止』担当 安江・吉田（松・桜寮所属）

東京都社会福祉事業団 東京都小山児童学園

〒203-0041 東京都東久留米市野火止 2-22-26

電話：042-471-0041 / FAX：042-475-9046

HP：https://www.jigyodan.org/koyama-gakuen/